

以前に「母と睡眠薬」「母と介護とまごころ」という題で母のことを書いたことがある。その母が3月16日肺炎でこの世に逝ってしまった。享年数えで90才。年に不足はない。トイレにも行けなくなり、ほぼ半分はわけの分からないことを言う母を、妻と一緒に（ほとんどは妻が世話をしているのだが）見てきた。時には、いつまでこんな状態で生きていくのだろうか、いつまで看なければならぬのだろうか、早く楽になりたいものだと思います。いながら看病してきたのであるが、いざ母が亡くなってみると、何故かぼんやりと心の中に穴があいたような気がしてならない。高齢の肉親を看るということは、真に大変なことである。特に仕事をもっている、家に一人老人を置いてゆくわけにもゆかず、家政婦を頼むなり、どこか入院させてくれるところを捜すしかない。あるいは、誰かが犠牲になり、一日中家の者が老人を看るしかない。我が家は最終的に病院へ入院させることを選んだ。病院の中では、適当なりハビリや夜間のトイレの世話、他の老人とのかかわりなどがあり、母によいからと思ったからである。しかし、母は家に帰ることを望んでいた。時々家に連れて帰るのだが、その夜は、私も妻も4、5回は起こされることになる。そして、翌日には家で看る限界を感じ、結局又元の病院へ連れて帰ることになるのである。病室のベットに横たわった、やせ衰え、わけの分からぬことを言っている母を見ていると、何故かうら悲しくなり、もういいのではないかと何度思ったことだろう。冷たいと思われるかもしれないが、どうしようもないのである。妻はもちろんのこと、私の兄弟も孫達も実に良くやってくれたと思っている。自分としても人並みにやってきたし、いずれは死が訪れるであろうことは覚悟してきたつもりである。そして、母の死によって、母が生きていたときのような苦勞が無くなったはずである。ところが、ほっとした気持ちより寂しさしか実感されないのである。「孝行のしたいときには親はなし」昔の人は実にうまく言ったものである。その時の煩わしさ、苦しみのために、親に対して大切なことをし忘れていたのではないかと、自問自答の毎日である。(山下病院院長)

学ぶ 知的障害者福祉にかかわるにあたって

当会が知的障害者の方々が集えるような場所づくりを目指すことになって、初めて市内の施設や学校を訪ねさせてもらった。高年齢者福祉にかかわりながら、この方たちと全く関係なしで過ごしてきたことに反省があります。平成七年に当会が開催した高齢者の介護者養成講座で「高齢者・障害者の心」について講義をいただいた愛知淑徳大学(当時)の江口先生から、「障害のある方やお年寄りの方にかかわるとき、私達に出来ることは、辛抱強く、諦めないで、彼らの存在そのものを忘れない、ひたすら関心をもち続けること」とその重さを話されたが今もずっと心に残っています。また、ある知的障害者施設の職員を連れておられる方から「この世の中に、知的障害者がいることなんか、知らなくて死んでいく人が殆どだと思ふ。会ったこともない人が殆ど。そのくらいに関心です。よ」という言葉にたじろいだことを覚えています。

会が知的障害者福祉にかかわることになって、改めてその意味を実感しています。訪問させていただいた場所は、正直、私達が知らなかった場所でした。謙虚に教わっていきたくと思っています。私達で出来るのかどうか不安そうにしていたら、男性ボランティアの方が「やっていこう」という気持ちがあれば出来そうですよ」と言っていました。まごころの新しい取り組みが始まります。

- 市内知的障害者施設
- 学 校 愛知県立一宮東養護学校
 - 授産施設 小学校から高校まで
 - 入所施設 一宮市立第2いずみ作業所
 - 通所更生施設 一宮市立いずみ福祉園
 - 任意授産施設 ポプリア作業所

- 5月の予定
- 1日(水) 会報「まごころ」発行
 - 2日(木) ミニデイサービス (場所・事務)
 - 5日(日) 定例会
 - 7日(火) コーディネーター会議
ミニデイ委員会
 - 9日(木) ミニデイサービス (場所・保育)
 - 14日(火) コーディネーター会議
施設「はとぼっば」及び「ポプリア作業所」訪問
 - 16日(木) ミニデイサービス
ミニデイ定例会 (場所・事務)
 - 17日(金) 各部会委員会
 - 19日(日) まごころ総会
及び交流会 (場所・事務)
 - 21日(火) コーディネーター会議
ミニデイサービス (場所・事務)
 - ミニデイ定例会
ミニデイ委員会
 - 23日(木) ミニデイサービス (場所・保育)
 - 27日(月) 養成講座開催
～知的障害者支援にかかわる講座～ (場所・事務)
 - 28日(火) コーディネーター会議
 - 30日(木) ミニデイサービス (場所・事務)



3月会員登録状況

協力会員	43人
利用会員	63人
賛助会員	117人
計	223人

3月有償活動

在宅活動件数	25件
活動人数	16人
活動時間	226 時間
ミニデイサービス利用者	45人
移送サービス利用件数	43件

6月の定例会は 6月2日(日) 事務所 9時30分～12時30分
◆定例会 9時30分～10時30分
◆ケア検討会 10時30分～12時30分
この日の午前のケアはお休みです
利用者さんよろしくお願ひ致します

3月介護保険訪問活動

訪問件数	51件
家事	524 時間
複合型	311 時間
身体	228 時間
合計	1063 時間

ミニデイサービス便り

お花見と絵画鑑賞

桜の花がいつもより早く咲きはじめ、散ってしまわないかとはらはらした今年のお花見。午前中は、岐阜県立美術館での水墨画展と常設展を見る。なかなかこんな機会がないとみなさん熱心に見入っておられた。目のご不自由な方には申し訳無いと思っていたら、「絵はよく見えないが、会場の空気や雰囲気はいつもとは違って感じられる。とてもいい」とおしゃってくださった。すばらしい水墨画の前には輪が出来、おしゃべりしながら鑑賞される方やひとりで見入る方などいろいろ。常設展の絵を見ながら「これ50年も前の絵!へー、えっ100年前の絵??」新しい発見をされながらそれぞれ楽しい鑑賞会ができました。そして、美術館の広い庭の爽やかな新緑は、大きなオマケでした。お昼過ぎに着いた、岐阜公園の花見の宴では桜の花がぎりぎりセーフ。文字どおりさくら吹雪の中でのお花見になった。雪のように風に舞う桜の花びらは、お弁当の中や敷物の上に降る。少々疲れられたのか、ゴロリと寝転がっての花の鑑賞も。歌う人、散策する人、おしゃべりする人、それぞれで「嬉しい。外での食事は気分がいいね」とIさんは歌もどんどん出てくる。車椅子の方が5人とスタッフあわせて総勢26名、市の福祉バスをお借りしてのお花見でした。来年も皆さん揃ってお花見が出来ますように。



平成14年5月のミニデイサービスは
保育園 5月9・23日 事務所 5月2・16・21日・30日

リサイクル情報

- ◆ポータブルトイレが数台あります
- ◆老人車数台あります
- ◆紙おむつあります

☆5月19日(日)
総会後の交流会に全部出します
どうぞ見に来て下さい